

NAKATOMI

スチームファン式加湿器

うるおい
空間

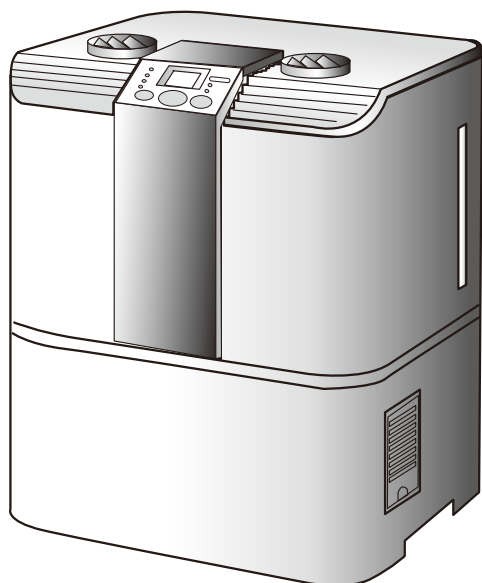
型式 SFH-12

取扱説明書

このたびは弊社「スチームファン式加湿器 SFH-12」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

※巻末が保証書になっています。大切に保管してください。





もくじ



安全上の注意	1・2・3
必ずお守りください	4・5
各部の名称	6
ご使用方法	7・8・9・10
お手入れの方法	11・12・13
保管について	13
仕様	13
故障の原因と対策	14・15
オプション部品(別売)のご案内	15
保証書	巻末

【安全上の注意】





- ご使用になる前に安全上の注意をよくお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつく重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に保管してください。

○表示と意味について


表 示		表示の意味
	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の例		図記号の意味
	分解禁止	○の記号は、禁止の行為を示します。（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「分解禁止」を示しています。
	差込プラグを抜く	●の記号は、行為を強制したり指示する内容を示しています。 具体的な強制内容は、文章や絵で示します。 左図の場合は、「差込プラグをコンセントから抜く」ことを示しています。




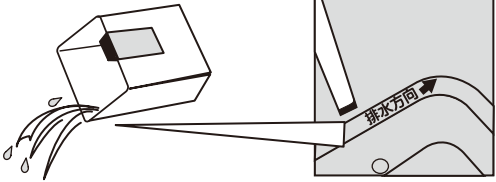

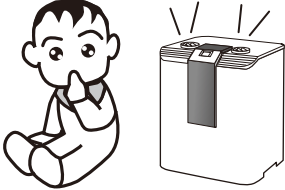
警告

	絶対に分解・改造はしないでください。火災・感電・ケガの恐れがあります。		電源は、交流100Vを使用してください。交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の恐れがあります。
	修理技術者以外の方は、分解・修理をしないでください。火災・感電・ケガの恐れがあります。修理はお買い上げの販売店までご相談ください。		お手入れ、取付の時は、差込プラグをコンセントから抜いてください。濡れた手で抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	蒸気吹出し口や吸気口の隙間などにピン・針金など金属物（異物）を入れないでください。感電や異常動作してケガをする恐れがあります。		蒸気吹出し口を触ったり、顔を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。







警告

	<p>灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、塗料等や、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くでは使用しないでください。爆発、火災の原因になります。</p>		<p>差込プラグ・プラグ差込口のほこりなどは定期的に乾いた布でふき取るようにしてください。プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。</p>
	<p>定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱し発火することがあります。</p>		<p>電気部品は水や洗剤をかけたり、吹き付けたりしないでください。漏電により、火災・感電の恐れがあります。</p>
	<p>火気に近づけないでください。本体の変形によりショートする恐れがあります。</p>		<p>使用中や使用直後は持ち運んだり、お手入れをしないでください。蒸発筒・吹出し口に触れると、やけどの原因になります。</p>
	<p>医療用途には使用しないでください。本器は医療器具ではありません。使用方法によっては体調悪化や健康障害の原因になります。</p>		<p>電源コードを束ねたり、傷つけたり、加工したりしないでください。また電源コードの上に物を載せないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。</p>
	<p>電源コードを抜く時は、コードを持たずに必ず先端の差込プラグを持って引き抜いてください。プラグがいたんでいる時は使用しないでください。コードに傷がつき火災、感電の恐れがあります。</p>		<p>ご使用にならない時は、差込プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による火災、感電の恐れがあります。</p>
	<p>差込プラグを抜き差しして電源を入れたり切ったりしないでください。感電や故障の原因になります。</p>		<p>船舶・車両等の加湿器としては使用しないでください。水漏れ・漏電の原因になります。</p>
	<p>屋外、屋内での水のかかる場所では使用しないでください。本体を丸洗いしたり、本体内部や底部に水を入れたりしないでください。</p>		<p>差込プラグを乳幼児が誤ってなめたりしないように注意してください。感電、ケガの原因になります。</p>
	<p>ご使用中に異常（回転停止・異常音・異常振動・異臭）等が発生した時は直ちに使用をやめ差込プラグをコンセントから抜いてください。火災感電の恐れがあります。</p>		<p>アルミニウム・亜鉛・マグネシウム・チタンなどの爆発性粉塵、ガス蒸気等の近くでは使用しないでください。</p>
	<p>蒸発皿のお手入れには下記の洗浄剤を使用しないでください。 蒸発皿に洗浄剤が残り、有毒ガス発生や蒸発皿に穴があいて水漏れの原因となります。 (塩素系・酸性・アルカリ性・加湿器用洗浄剤・ポット洗浄剤)</p>		

⚠ 警告

	<p>不安定な場所や傾斜した場所に置かないでください。転倒すると水がこぼれ、火災・感電・ショートの原因になります。</p>		<p>食品・動植物・精密機械・美術品の保存など特殊用途には使用しないでください。本器・対象物の品質低下の原因になります。</p>
	<p>排水するときは、クリーンフィルター・蒸発筒・タンクを外してから、排水方向に排水してください。手順と排水方向を誤ると、送風口から水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。</p>		
	<p>幼児の手の届く範囲で使用しないでください。感電・やけどをすることがあります。</p>		

⚠ 注意

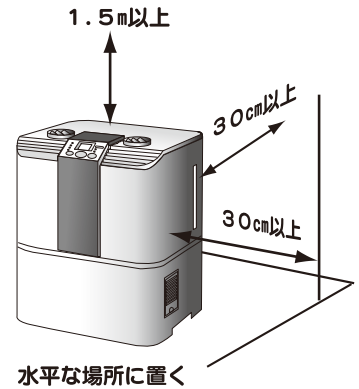
	<p>蒸気吹出し口をふさがないでください。吹出し口をふさぐと、変形・故障・火災の原因になります。</p>		<p>上部カバーや蒸発筒を外して使わないでください。蒸気が吹出してやけどの原因になります。</p>
	<p>本体の上に乗ったり、物を置かないでください。危険です。</p>		<p>暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルなどの上に置かないでください。転倒すると感電・ショートの原因になります。また底面の熱により、テーブル等の変形や変色の原因になります。</p>
	<p>本器は大切に扱ってください。タンクや本体が破損したまま使うと破損箇所から水漏れしてショートや感電、発火の原因になります。</p>		<p>凍結の恐れがある場合は、タンクと貯水部の水を捨ててください。また凍結した状態で運転しないでください。</p>

【必ずお守りください。】

設置場所について

●必ず安定した水平な場所に置いてください。

- 右図のように、壁からは30cm以上、天井までは1.5m以上の距離をとってください。
- 蒸気が電化製品、壁、家具、カーテンなどに当たらないように十分距離をとってください。蒸気がかかると、壁・家具などのシミや変形、電化製品の故障の原因になります。
- 床付近と天井付近では温度・湿度が異なります。空気を循環させる送風機(サーキュレーターなど)を使って、室内の空気を循環させることにより湿度ムラを改善する事ができます。
- 夜間に使用する場合は、雨戸を閉めてください。外気温と室温の差が大きいと結露しやすくなります。
- 送風機(サーキュレーターなど)を窓に直接風を当てる事により結露を抑える事ができます。



置いてはいけない所

- 熱に弱いものの上に置かないでください。
- 直射日光が当たる場所、暖房機の上や近く、温風が当たる場所には置かないでください。
- 高温・多湿になる場所には置かないでください。サウナや浴室など。
- テレビ・ラジオ・エアコン等の近くに置かないでください。電波障害の恐れがあります。
- 凍結の恐れがある場合は、タンクと貯水部の水を捨ててください。
- 毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。本体側面の吸気口が塞がれると、安全装置が誤作動する場合や故障の原因となります。

水について

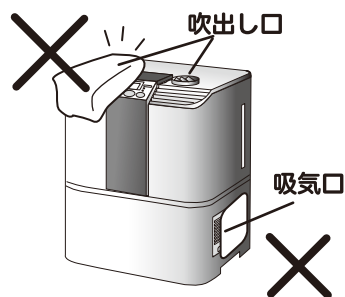
●必ず水道水(飲用)をご使用ください。

水道水以外の水はタンクに入れないでください。

- 40℃以上のお湯、次亜塩素酸ナトリウム等の溶液、化学薬品、芳香剤などを入れると故障や健康を害する恐れがあります。
浄水器の水、ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水等を入れるとカビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。

吹出し口について

- 吹出し口をふきんなどでふさいで使用しないでください。
また吸気口をふさがないでください。
故障の原因となります。



クリーンフィルターの交換



クリーンフィルターは消耗品です。もみ洗いをして、染み込んだスケール(注1)が取れなくなった場合や、蒸気の出かたが少なくなった場合は、新しいものと交換してください。

※フィルターセット（クリーンフィルター + エアフィルター）としてご用意しておりますので、お買い上げの販売店でお買い求めください。

●クリーンフィルター交換の目安

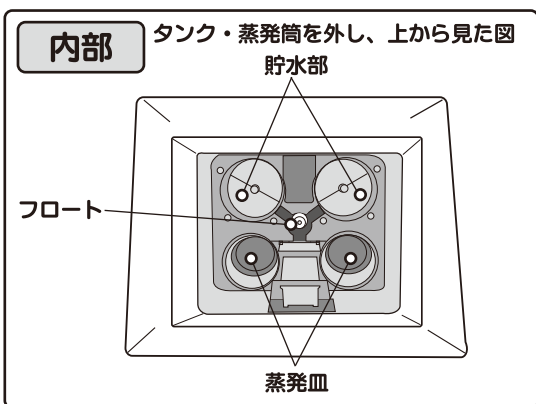
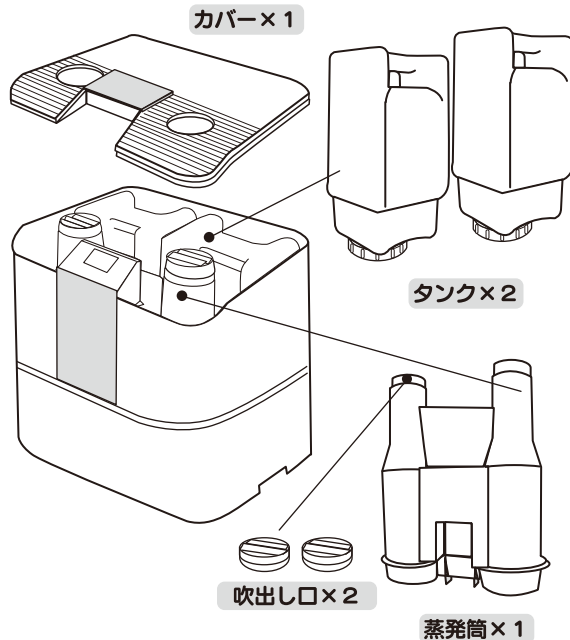
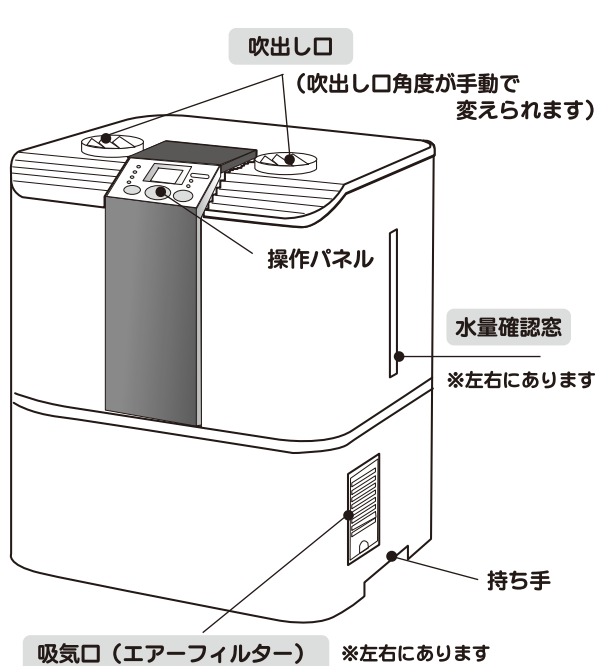
運転時間 300時間です。 1日10時間の運転で約1ヶ月したら交換してください。

※この目安の時間は水質の違いやスケールの発生によって変わります。

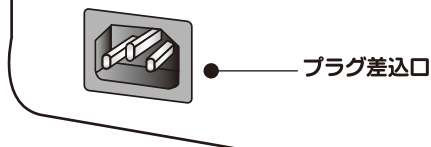
(注1)スケールについて

- ・スケールとは、水道水中の蒸発残留物の事で、カルシウム・マグネシウム・シリカ・鉄分等です。これらは水道水を加熱して蒸気を発生させる際に必ず発生します。
- ・スケールは、クリーンフィルター・蒸発筒・蒸発皿の周囲に堆積しますので、故障を防いだり、本機を末永くご愛用いただくために、こまめに除去してください。
一度こびりついてしまったスケールを除去することは困難です。スケールが固まり堆積する前に、水でぬらした柔らかい布やスポンジ等でこまめに拭き取りしてください。
- ・お手入れは一週間に一回以上を目安に行ってください。
※ご使用場所の水質やご使用頻度によってスケールの堆積量が変わります。汚れがひどいときはこまめに清掃してください。

【各部の名称】



本体後ろ



付属品

クリーンフィルター
2枚入り×2セット



操作パネル

現在温度表示
加湿器周辺の温度を表示します。80%を超えるとHi、30%未満になるとLo表示になります。

湿度設定ボタン
一度押すたびに連続→40%→50%→60%に切り換わります。40. 50. 60%を選択すると、周囲湿度を設定した湿度にコントロールします。

湿度設定
60%
50%
40%
連続

現在温度
60%

給水ランプ
タンクの水が無くなるとランプが点灯しブザーが5回鳴ります。運転を自動停止し給水すると自動的に運転を再開します。

運転/停止ボタン
運転/停止を行います

運転切換ボタン
強弱運転切換ランプ
早く湿度を上げたいときは強運転、加湿量を抑えたいときは弱運転を選べます。

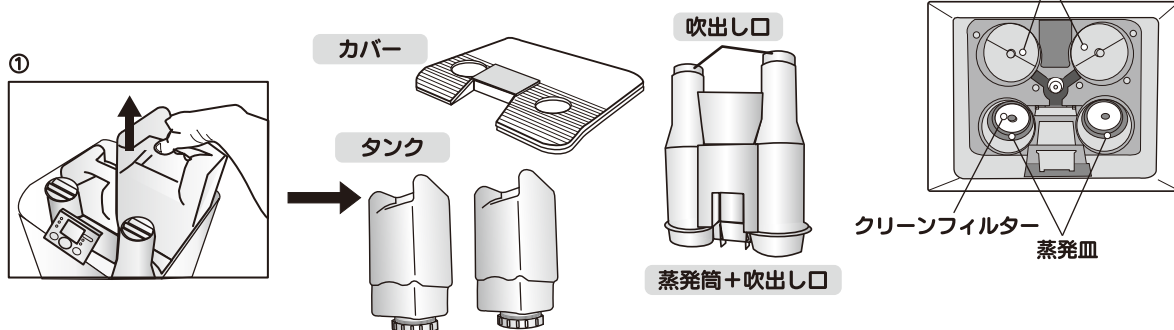
給水
強
弱

運転/停止
運転切換

【ご使用方法】

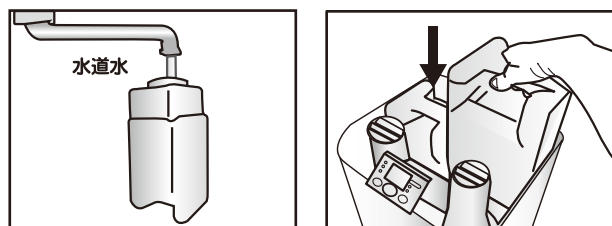
1 クリーンフィルターをセットする

- ① 各部を取り外します。
- ② 蒸発皿にクリーンフィルターをそれぞれセットします。



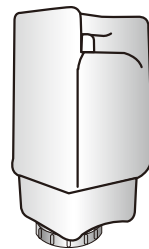
2 タンクに水を入れる

- ① タンクキャップを回して外し水道水（飲用）を入れます。
タンクの半分以上から、満水までの間に入れてください。タンクのキャップを締めます。
※タンクの水は使用することにより、新しい水と交換してください。



ご注意

- ◆タンクキャップは確実に締め、水が漏れていないか確認してください。
- ◆タンクに付いた水は布で拭きとってください。
- ◆貯水部に直接水を入れしないでください。
- ◆必ず水道水をご使用ください。
- ◆40℃以上のお湯、次亜塩素酸ナトリウム等の溶液、化学薬品、芳香剤などを入れると故障や健康を害する恐れがあります。
浄水器の水、ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水等を入れるとカビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。
- ◆本体を移動する場合は、タンクを取り出してから移動し、設置後タンクをセットしてください。



- ② 蒸発筒、タンク、カバーをセットしてください。

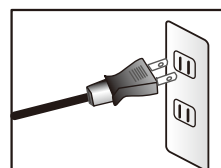
3 電源を接続する

- ① 本体後ろのプラグ差込口へ電源コードを接続します。
- ② 差込プラグをコンセントに差し込んでください。

本体背面

プラグ差込口

- ※ 付属の電源コードは、SFH-12専用です。必ず専用の電源コードをご使用ください。



4 運転開始

ご注意

◆湿度表示について

・同じ部屋でも場所や高さ、空気の流れなどによって、湿度にムラがあるため、お手持ちの湿度計とは表示が異なる場合があります。また、加湿器の湿度表示と湿度計では、精度や応答の速さが違うため、湿度差が出る場合があります。「現在湿度表示」は目安としてお使いください。

・使い始めなど、本体内部が冷えている場合は高い湿度表示になる場合があります。運転すると下がって正常になります。

◆運転中に水が蒸発する音が聞こえますが異常ではありません。

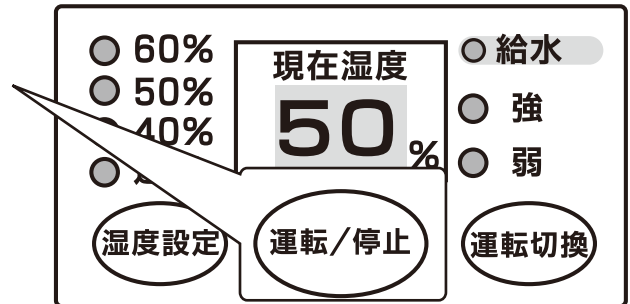
◆初めてお使いになるとき、ヒーターの発熱のため、多少臭いがすることがありますが、異常ではありません。

◆蒸気は、部屋の温度や湿度によって見えにくいことがあります。

① 運転/停止ボタンを押します。

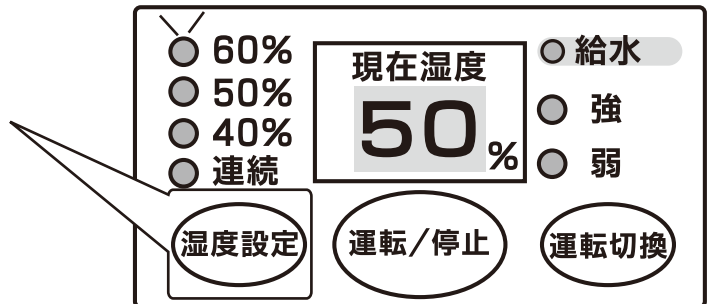
ボタンを押すと運転を開始します。

※タンクをセットして10分くらいたち、
クリーンフィルターに十分水が含まれたら、
運転ボタンを押してください。



② 湿度設定ランプが点灯し、加湿を始めます。

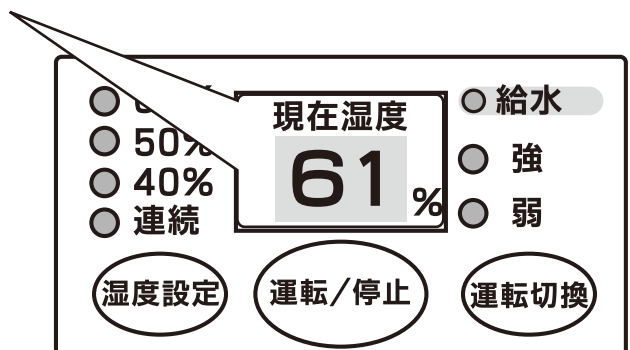
※蒸気が出始めるまでに数分かかります。
※現在湿度表示よりも、湿度設定を低くすると、ランプは点滅になります。



③ お部屋の現在湿度を表示します。

・現在湿度の表示が30~80%のとき1%単位で表示します。

・30%未満のときは、「Lo」。80%を超えると「Hi」の表示になります。



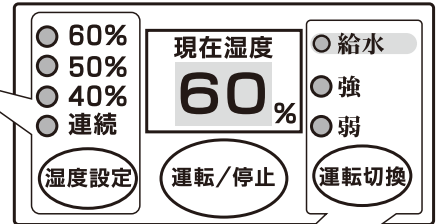
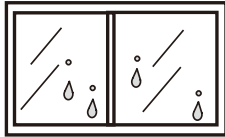
5 湿度設定について

湿度設定機能

湿度設定ボタンを押します。スイッチを一度押すごとに連続→40%→50%→60%→連続 と切り換わります。

ご注意

快適湿度は40%～60%です。
湿度設定を「連続」に設定して、窓などが結露する場合は、設定湿度を40～60%の範囲でご利用ください。
結露したまま加湿を続けるとカビが生える原因になります。



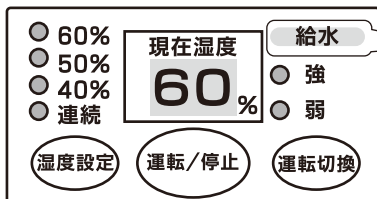
強弱運転切換

運転切換ボタンを押すと、湿度の強弱を選べます。
早く湿度を上げたいときは「強運転」加湿量を抑えたいときは「弱運転」にします。

ご注意

- ◆運転開始時に設定湿度よりお部屋の湿度が高い場合、又、設定された湿度に達すると、湿度を一定に保つために、自動的に加湿量を抑える運転になります。
- ◆弱運転にした場合、蒸気が左右で切り替わりながら出ますが、故障ではありません。

6 給水停止機能について



- ① タンクの水がなくなると、給水ランプが点灯しブザーが5回鳴ってお知らせし、加湿は自動的に止まります。
- ② タンクに給水し、本体にセットします。給水ランプが消灯し、給水ランプ点灯前の運転モードで再開します。

ご注意

- ◆給水ランプが点灯した後、ご使用されない場合は運転スイッチを切ってください。
- ◆給水ランプが点灯すると、本体の温度を下げるため、ファンが約5分ほど回ってから止まります。
- ◆タンクの水は、両方同じように減らない場合がありますが、異常ではありません。

運転/停止

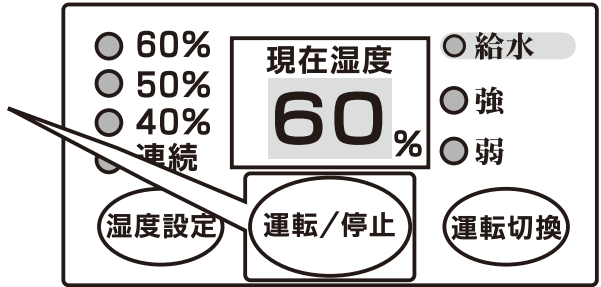
7 運転を終了する

① 運転/停止ボタンを押します。

ボタンを押すと表示パネルが消灯し、運転を終了します。

※運転を終了しても、本体の温度を下げるため、ファンが約5分ほど回って停止します。

※電源プラグを抜くと、全ての設定が解除されますので、再び運転を始めるときは、あらためて設定をしてください。



ご注意

◆運転終了後もしばらく蒸気が出ます。吹出し口をさわったり、顔を近づけるとやけどをする恐れがありますので、ご注意ください。

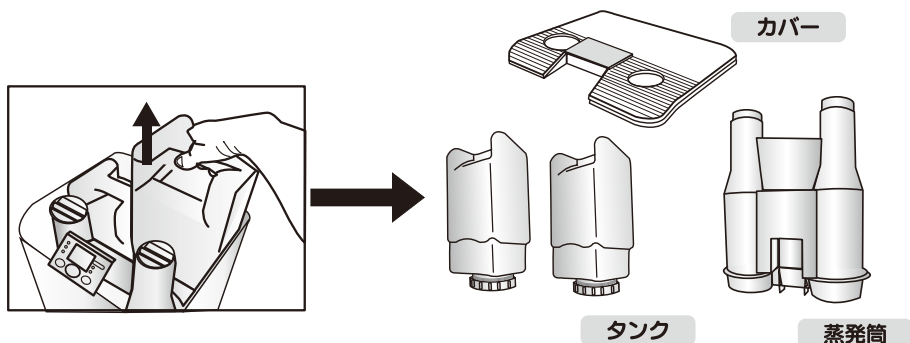
【お手入れの方法】

⚠ 警告

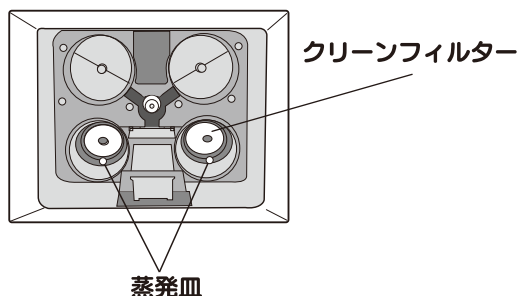
- ◆使用中、使用直後はお手入れしないでください。運転停止後本体が冷えたことを確認してからお手入れしてください。
- ◆お手入れの際は必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電ややけどの恐れがあります。
- ◆お手入れの際、塩素系洗剤、酸性洗剤は使わないでください。洗剤が残ると有毒ガスが発生することがあります。
- ◆本体を丸洗いしないでください。また本体内部や底部に水を入れたりしないでください。

- ① 運転/停止ボタンを押します。本体が冷えたら、差込プラグを本体とコンセントから抜き、お手入れを始めてください。

- ② 各部を取り外します。



- ③ 蒸発皿から、クリーンフィルターを取り出してください。



本体外側のお手入れ

- ① 硬くしぼった雑巾などで本体を拭きます。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤をご使用ください。その後、洗剤が残らないようによく乾拭きしてください。

タンクのお手入れ

- ① 汚れている場合は、タンクに水を少し入れ、キャップを締めて振り洗いしてください。その後、内部をきれいに拭いてください。

ご注意

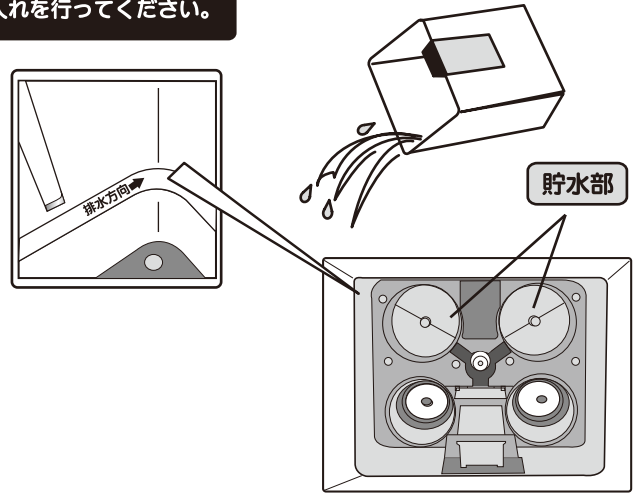
- ◆タンクに水を入れたまま放置しないでください。運転したとき、臭いの原因になることがあります。また、ご使用にならない場合はタンクの水を排水してください。

本体内部のお手入れ ※1週間に一度以上を目安にお手入れを行ってください。

- 蒸発筒・タンクを外して貯水部の水を排水方向にゆっくり捨ててください。
- ※加湿器内部に水が入らないよう、必ず排水方向より排水してください。

ご注意

加湿器内部に水が入りますと、火災・感電・ショートの原因になり、危険です。



①貯水部 ②蒸発筒 ③蒸発皿 ④吹出し口

貯水部、蒸発筒・蒸発皿・吹出し口についた汚れ（スケール等）を濡れた雑巾などで拭いてください。
※蒸発筒に付着しているスケールが乾燥している場合は、水を十分含ませてから拭いてください。

ご注意

蒸発皿はフッ素加工が施してありますので、研磨剤・金属たわしなど固いものでこすらないでください。

⑤フロート

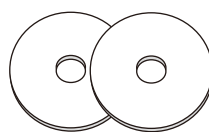
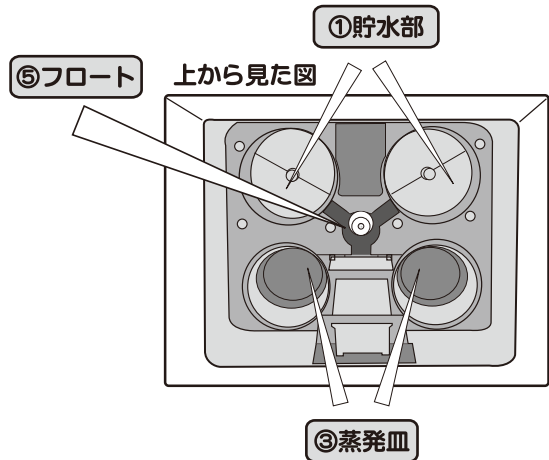
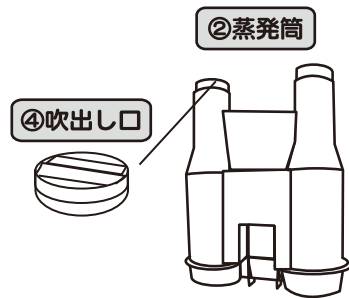
フロートの回りが汚れている場合は拭き取ってください。このとき指を挟まないように注意してください。また、フロートは外さないでください。

⑥クリーンフィルター

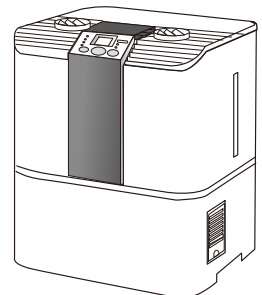
クリーンフィルターを水でもみ洗いしてください。このとき、硬くなったスケールでケガをしないように注意してください。
もみ洗いをしても染み込んだスケールが取れなくなった場合や蒸気の出かたが少なくなった場合は新しいものと交換してください。
※お買上げの販売店でお買求めください。

内部のお手入れが終わりましたら・・・

クリーンフィルターを蒸発皿の上にセットして、タンク・蒸発筒・吹出し口・カバーを取り付けてください。



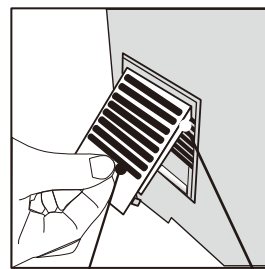
⑥クリーンフィルター



エアフィルターのお手入れ ※2週間に一度お手入れを行ってください。

※エアフィルターは側面両側にあります。

- ① エアフィルターを外します。
- ② 掃除機で吸気口とエアフィルターのゴミを吸い取ります。
 ※エアフィルターの汚れがひどく、取れにくい、または破損した場合は新しいものと交換してください。
 ※フィルターセット（クリーンフィルター + エアフィルター）としてご用意しておりますので、お買い上げの販売店でお買い求めください。
- ③ エアフィルターを本体に取り付けてください。



エアフィルター 吸気口

【保管について】

- ① 長期間保管の場合は、お手入れ後各部についた水を拭き取り、日陰で自然乾燥させてください。この時使用したクリーンフィルターは外してください。
- ② ポリ袋か梱包ケースに入れ、湿気の少ないところで保管してください。

ご注意

- ◆湿ったまま保管しないでください。カビが発生する原因になります。
- ◆乳幼児の手の届かないところに保管してください。

※数日間使用しないときは、タンク、蒸発皿、本体内部に残った水は捨てて乾燥させて保管してください。

【仕様】

型 式	SFH-12
電 源	単相交流 100 V 50/60 Hz
消 費 電 力	1000W(強) / 500W(弱)
加 湿 能 力	1200 mL/h(強) / 600 mL/h(弱)
湿 度 設 定	連続・40・50・60 %
タ ン ク 容 量	4.6 L×2
加 湿 の 目 安	木造和室34㎡ (20畳)
	プレハブ洋室55㎡ (33畳)
運 転 音	約45 dB
連 続 加 湿 時 間	約7.5時間
吹 出 口 温 度	約 50 °C
付 属 品	差込型電源コード (2.5m)
	クリーンフィルター(2セット)
本 体 寸 法	(W)32.6×(D)29×(H)41.5cm
質 量	6 kg

※改良等のため、予告無く仕様・外観を変更する場合があります。

※加湿の目安は日本電機工業会規格(JEM1426)に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用面積とし、木造和室の場合を最小適用面積としたものです。ただし壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって異なります。

【故障の原因と対策】

故障の種類	原因	対策
運転しない	差込プラグが外れている。	差込プラグをコンセントに差し込んでください。
	給水ランプが点灯している。	タンクに水を補給してください。
	停電、またはブレーカーが落ちている。	復帰を待つ。ブレーカーを入れてください。
給水しても給水ランプが消えない	フロートの周囲がスケール、ホコリで汚れている。	フロートの周囲をお掃除してください。
蒸気が出ない	運転を始めた直後。	蒸気が出るまでに数分かかります。
	部屋の湿度が設定湿度より高い。	部屋の湿度が高いので加湿を停止しています。
蒸気の出が少ない	部屋の湿度と温度の環境により、蒸気が見えにくい場合があります。	タンクの水が減っていれば故障ではありません。
	クリーンフィルターにスケールがたまっている	クリーンフィルターを洗うか、新しいものと交換してください。
	吸気口にほこりがたまっている。	吸気口及びエアフィルターのほこりを取り除いてください。
	蒸発筒の表面に凸凹などの異常がある。	蒸発筒を交換してください。 ※お買求めの販売店にご連絡ください。
加湿しても湿度が上がらない	部屋の入り口や窓が開いている。 または、換気扇等で換気している。	部屋の入り口や窓を閉める。 換気をやめる。
	部屋が広すぎる。	加湿目安の範囲内で使用する。
湿度が高くなっても蒸気が止まらない	連続運転になっている。	湿度設定を低く設定する。
湿度表示が上がりすぎる	初めて使う。	使い始めは、内部が冷えているため高湿度表示になりますが、しばらくすると、下がります。
においが出る	本体内部が汚れている。タンクの水を放置したままになっている。	本体内部をお掃除してください。 タンクを水洗いし、新しい水を入れてください。
吹出し口が熱い	送風モーター故障	※お買求めの販売店にご連絡ください。

故障の種類	原因	対策
「ボコボコ」という音がする	タンクから蒸発皿に水が供給される音。	性能に問題ありません。
	蒸発皿にスケールが溜まっている。	お手入れをするか、クリーンフィルターを新しいものと交換してください。
カバーの裏側にたくさん水滴がつく	蒸発筒がしっかり取り付けられていない。	本体にしっかり取り付けてください。
蒸発皿にスケールがつく	水道水を蒸発させると、水に含まれているミネラル分がスケールとして固まり付着する。溜まると誤作動の原因になります。	こまめにお手入れをしてください。
カバーが変色する	プラスチックに水アカが付着し、変色(黄変・白変など)する場合がある。	性能に問題ありません。

- 水漏れがする、焦げ臭いニオイがする、本体が異常に熱い、運転中に異常な音がする、その他異常・故障がある場合はスイッチを切り、コンセントから差込プラグを抜いて販売店、または弊社お客様相談窓口まで点検をご依頼ください。
- 修理、部品の交換・ご注文はお買い上げの販売店、または弊社お客様相談窓口までご相談ください。

【オプション部品(別売)のご案内】

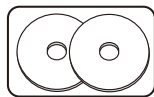
お買い求めの際は、本体お買い上げの販売店にお求めください。

SFH-12用 フィルターセット

JAN 4511340911513

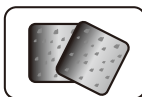
<セット内容>

クリーンフィルター



×3セット

エアフィルター



×1セット

株式会社 ナカトミ

〒382-0800 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●製品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡ください。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-7101

受付時間10:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

※製品は改良等のため予告なく外観・仕様等を変更することがあります。